

2165	近藤 基(59a) 他8名	トマト	瑞紅・ごほうび・結夏・麗旬
------	---------------	-----	---------------

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
アンリッチ6-8-3			0						100									
フィッシュパワー									100									
カキライム									100									
ぼかし 6-1-8			6	0	1		8			元肥				150x3	9/12	4	0.0	
マイルドフミン			0															
苦土石灰			0															
コフナ1号			0							追肥				600	7/20	1	0.0	
富民源(腐植)			0							追肥				1200	9/12	1	0.0	
海力NO.1			0							追肥				1050	9/12	1	0.0	
菜種粕(脱脂)			0							追肥								

使用量はkg/10a

【慣行農法との比較】

\*化学肥料

窒素分で比較して 当地比

5 削減

化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)
慣行使用量	33
計画使用量	15

\*節減対象農薬

当地比

5 削減

節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	20	64

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
															商品	成分
殺虫	ベストガード粒剤	ニテンピラム		殺虫							11kg	9/23	1	1	1	4
殺虫	アルバリン粒剤	ジノテフラン		殺虫											1	5
殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン		殺虫											2	5
殺虫	アニキ乳剤	レピメクチン		殺虫											3	3
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン		殺虫						4000	300L	10/25	1	1	3	3
殺虫	クリアザールフロアブル	スピロメシフェン		殺虫											2	2
殺虫	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド		殺虫					0						2	2
殺虫	ダニロンフロアブル	フェンピロキシメート		殺虫											3	3
殺虫	ベストガード水溶剤	ニテンピラム		殺虫											3	4
殺虫	モスピラン水溶剤	アセタミプリド		殺虫											3	4
殺虫	モバントフロアブル	スピロテトラマト		殺虫											1	3
殺虫	マッチ乳剤	ルフェヌロン		殺虫											4	4
殺虫	コテツフロアブル	クロルフェナピル		殺虫											3	3
殺虫	アフファーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩		殺虫						2000	300L	10/25	1	1	5	5
殺菌	ベルコートフロアブル	イミノクタジナルベシル酸塩		殺菌											3	3

備考:

肥料は、リストの肥料の中から使用します。すべて有機の資材です。完熟堆肥有機肥料を主体に化成の窒素を15kg/10a以内に抑えます。農薬は、リストの農薬の中から、最大20回までに抑えて使用します。化学合成農薬以外にも生物農薬を使用します。通常マルハナバチによる着果促進を行い、補完的に植物調整剤を使用します。

生産者 近藤 基さん、  
圃場 NO. 10-1 (35a) ごほうび  
実績 0kg、4回 (2017/12/9 現在)

## 病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬(成長調整剤、展着剤等を含む)

使用量/10a

分類	商品名	原料	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺菌	シグナムWDG	ピラクトロピリン・ボスカリド		殺菌											2	2,3
殺菌	ファンタジスタ顆粒水和剤	ピリベンカルブ		殺菌											3	3
殺菌	ホライズンドライフロアブル	シモキサニル・ファモキサドン		殺菌											3	3,3
殺菌	エトフィンフロアブル	エタボキサム		殺菌											4	4
殺菌	ザンプロDMフロアブル	アマトクトラジン、ジメトモルフ		殺菌											3	3,3
殺菌	ランマンフロアブル	シアゾファミド		殺菌											4	4
殺菌	レーバスフロアブル	マンジプロバミド		殺菌											3	3
殺菌	ゾーベック エニケード	オキサチアピプロリン		殺菌											2	2
殺菌	セイビアーフロアブル20	フルジオキシニル		殺菌											3	3
殺菌	カンタスドライフロアブル	ボスカリド		殺菌											3	3
殺菌	ネクスターフロアブル	イソピラザム		殺菌											3	3
殺菌	カリグリーン	炭酸水素カリウム		殺菌					0						-	-
殺虫	サンクリスタル乳剤	脂肪酸グリセリド		殺虫					0						-	-
殺虫	プレバソンフロアブル5	クロラントラニプロール		殺虫											3	4
殺虫	ベネビアOD	シアントラニプロール		殺虫											3	4
殺菌	パンチョITF顆粒水和剤	シフルフェナミド・トリフルミノール		殺菌											2	2,5
殺菌	イオウフロアブル	硫黄		殺菌					0	500	500L	12/2	1	0	-	-
生長調整	トマトーン	4-CPA		着果促進						50		10/25	1	1	1	1
殺菌	アフェットフロアブル	ベンチオピラド		殺菌											3	3
その他	マルハナバチ			受粉							300	9/26,11/7	2	0	-	-
殺虫	コロマイト乳剤	ミルバメクテン		殺虫					0						2	2

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月	マルハナバチが活動できない状態	
2月	追肥	
3月	マルハナバチ利用	
4月	収穫	
5月	収穫	
6月	収穫終了	
7月		
8月	播種	
9月	ハウス、マルチ被覆、元肥	9/13 定植 6760本
10月	定植、支柱立て	10/14 マルチ被覆
11月	誘引、マルハナバチ利用	11/18 収穫開始
12月	追肥、誘引、収穫開始	

定植開始:	平成29年9月25日
終了:	
収穫開始:	平成29年12月下旬
終了:	平成30年6月下旬